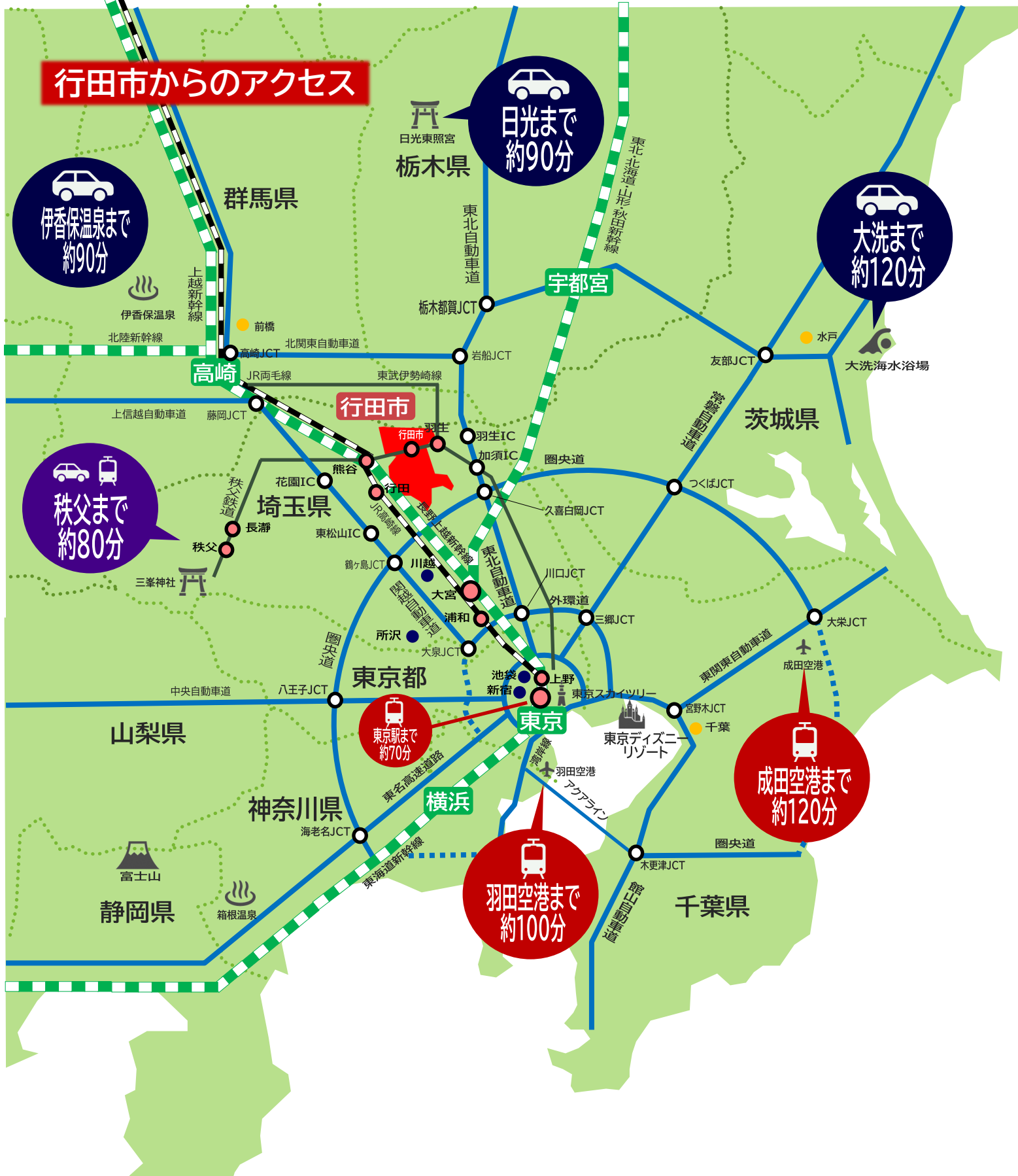


暮らす 行田で



行田市の情報は市ホームページでもご覧いただけます。
右の二次元コードを読み取って、ぜひチェックしてみてください。





ぎょうだ基本DATA



歴史あるまち行田で
”ほどよい田舎暮らし”をする

行田市は、埼玉県北部に位置し、北に利根川、南に荒川という二大河川に挟まれ、肥沃な平野部とのどかな田園風景が広がる水と緑に恵まれたまちです。

埼玉県名発祥の地である行田市は、かつての足袋産業の隆盛を物語る「足袋蔵」などが、2017年に県内初となる日本遺産に認定され、2020年には9基の大型古墳からなる「埼玉古墳群」が東日本では初となる国の特別史跡に指定・登録された、豊かな自然と歴史が息づくまちです。また、水田に複数の色の稲を植えて絵を描き出す「田んぼアート」は、2015年に「世界最大の田んぼアート」としてギネス世界記録™に認定され、現在も国内外より注目を集めています。

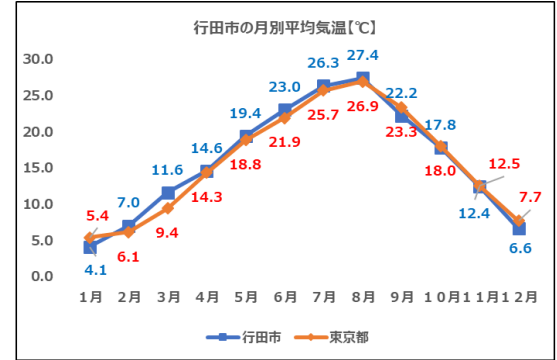
人口：78,550人
令和5年4月1日現在

世帯数：35,715世帯
令和5年4月1日現在

面積：67.49km²

気候

平均気温は、年間を通して東京都とあまり変わりません。行田市は、「日本一暑いまち」として知られる熊谷市に隣接しており、夏は暑さが厳しいまちですが、冬になると晴れの日が多く、暖かさを感じられ、雪はあまり降らない穏やかな気候に恵まれた地域です。



行田市と東京都の日照時間と降水量を比較

日照時間	行田市 2106.5時間	東京都 1926.7時間
降水量	行田市 1305.9ミリ	東京都 1598.2ミリ

(気象庁統計より)

医療

病院・医院が市内34施設あり、そのうち、総合病院は2施設あります。老若男女問わず、安心して生活が送れます。

病院、医院、歯科医院、薬局の数 (令和4年1月1日現在)

病院・医院数	歯科医院数	薬局数
34施設	41施設	39箇所

防災

災害に備えて準備できることや災害が発生したときの行動を示す「行田市防災ガイドブック」を、市役所危機管理課で配布しています。

行田市の防災に関する情報は、左の二次元コードからご覧ください。



交通アクセス

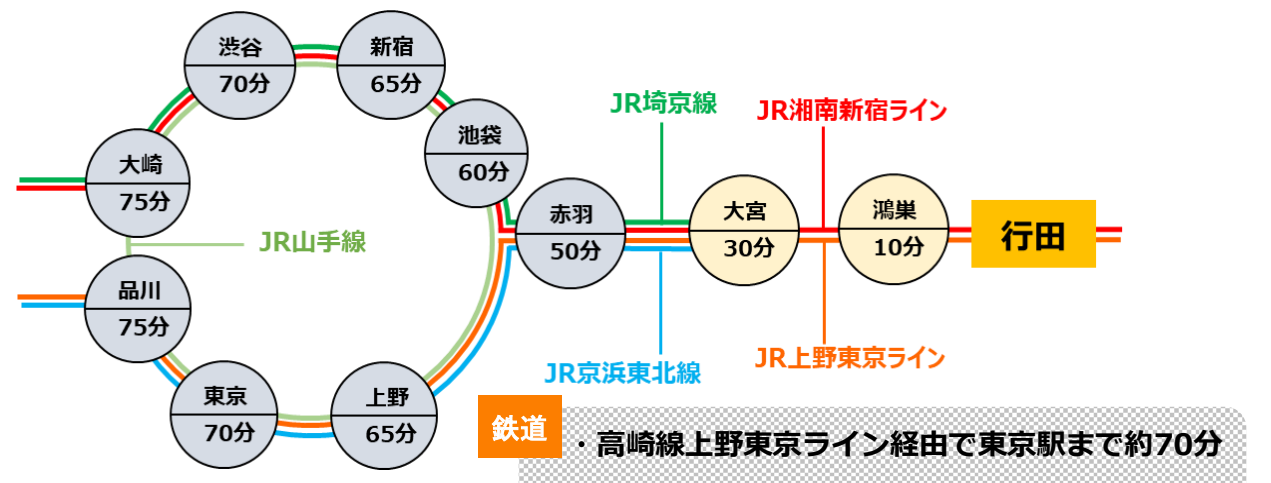
通勤やレジャーに便利



東北自動車道、関越自動車道、首都圏中央自動車道の各インターチェンジへのアクセスも比較的良好です。また、東京都心から電車で約70分圏内、さいたま市から約30分圏内にあり、通勤・通学やレジャーにも便利な立地です。

自動車

- ・東北自動車道 羽生インターから 約14km、約30分
加須インターから 約17km、約35分
- ・関越自動車道 花園インターから 約22km、約40分
東松山インターから 約22km、約40分
桶川加納インターから約20km、約40分
- ・圏央道



鉄道

- ・高崎線上野東京ライン経由で東京駅まで約70分
- ・高崎線湘南新宿ライン経由で渋谷駅まで約70分



ぎょうだ住まいDATA

賃貸住宅 家計にやさしい行田の賃貸住宅

ワンルーム 2LDK~3LDK 一戸建て



行田市	4.0万円	5.7万円	6.9万円
都内	8.7万円	23.6万円	44.7万円

(令和5年7月10日時点 住宅情報サイトSUUMO調べ)

住みたい街ランキング上位常連の都内某区と比べると家賃の差は歴然!!これが1年間だと大きな差が出ます。行田市なら、同じ値段で広めの家にゆったりと暮らすことができます。

マイホーム 憧れのマイホームを都内と比べてお得に購入できます



地価 (住宅地1㎡あたり)	行田市	33,400円	約41万円 お得!
	東京都	452,100円	

(令和5年「地価公示」より)

住宅地の地価(1㎡あたり)は、都内と比べて格段に安価であり、行田に住めばマイホームの購入も夢ではありません。平成30年に実施した住宅・土地統計調査によると、行田市の持ち家住宅率は78.8%(全国値:61.2%)となっています。

公園 子育て世代が安心して利用できます

市内には、地区の公園だけでなく「水城公園」、「古代蓮の里」、「さきたま古墳公園」といった大きな公園があり、子育て世代も安心して利用できます。

また、市民の憩いの場となっている水城公園内にある「じゃぶじゃぶ池」では、夏になると大勢の子供たちが水遊びを楽しんでいます。



都市公園数	1人当たりの公園面積(㎡/人)
59カ所	13.90㎡

2020年「都市公園等現況調査」より



市民の憩いの場となっている水城公園

じゃぶじゃぶ池ではしゃぐ子どもたち



安全 災害が少ないまち

行田市は関東平野に位置し、海や山もないため、津波や土砂災害の心配はありません。また、大きな地震などの災害も比較的少ない地域です。

しかし、近年では災害が頻発化・激化しており、行田市においても、台風などによる洪水被害のリスクがあります。

そのため、洪水などの危険がある地域を示した「防災ハザードマップ」の作成や、地域の防災リーダーである「防災士」の資格取得支援を行うなど、防災に力を入れています。また、地域を見守る「自主防災組織」への加入率も79.8%と高く、地域で防災に取り組んでいます。

防災士の人数 (市内在住者)	自主防災組織 加入率
180人	79.8%

令和5年8月1日現在

令和5年4月1日現在



「ハザードマップ」の情報は左の二次元コードからご覧ください。

Interview

先輩移住者の声

地域の皆さんの雰囲気が温かい。それが行田の魅力だと思います。

岡田 英明さん

レストラン「PAZZO-DI-PIZZA! GYODA」オーナー

行田市出身。埼玉県調理師専門学校を卒業し、群馬県内のパスタ店に就職後、前橋市や東京都新宿区のパザ専門店に勤務。その後、当時市が実施していたUターン創業支援事業を活用し、2017年8月に念願であったピザ店「PAZZO-DI-PIZZA! GYODA」をオープンし、妻・藍さんと共に経営している。



Q1

なぜ、移住先として行田を選んだのですか？

県外のパスタ店に就職していた際にピザづくりに魅了され、自分の店を持ちたいという思いが次第に強くなっていきました。「自分の店を開業するのなら、生まれ育った行田で」と思っていましたので、移住先として真っ先に行田を選びました。



Q2

実際に住んでみて、行田の印象はいかがですか？

行田市は保育園・学童保育室ともに待機児童ゼロで、子どもと一緒に遊べるイベントが数多くあり、子育てしやすいまちだと思います。私たち週末は、親子でイベントに参加しており、子育てを楽しんでいます。

Q3

移住者の視点から、行田の魅力をお教えてください。

埼玉古墳群などの歴史的な観光名所が多いところや、災害が少ないところです。また、開業時に市内同業者のオーナーが応援してくれるなど、地域の皆さんが温かいという点も行田の魅力の一つだと感じています。



住まいる行田会員 募集中

住まいる行田会員とは？

市内外の方問わず、本市への移住・定住に関心がある方に加入いただく会員制度です。

会員は、会員登録後に配布される会員カードを「移住定住パートナーズ登録事業者」の店舗で提示すると、さまざまなサービス(買い物時の割引や粗品プレゼント、公共施設の利用料の割引など)が受けられます。

会員登録は無料です!!



住まいる行田会員の会員登録は、下の二次元コードからアクセスしてください。



子育て 行田で育てる

ポイント1 妊娠中から子育て期まで切れ目のない支援を行います

妊娠・出産期のご家庭が安心して生活できるように、**おうち子育て支援金***1や**出産・子育て応援事業***2により、経済的な支援を行っているだけでなく、**行田市子育て包括支援センター**による**伴走型相談支援**も一体的に行っています。

※1 出生時1人5,000円

※2 出産応援給付金：妊婦1人につき50,000円

※3 子育て応援給付金：出生した子ども1人につき50,000円



ポイント2 保護者が安心してお子さんを預けられます

保育園だけでなく、学童保育室の**待機児童はゼロ**。保護者が安心してお子さんを預ける体制を築いています。

また、**お子さんに関する医療費（外来、入院いずれも）は、18歳まで*4無料**です。「仕事などでどうしても休みを取得できないときに限って、急に子どもが発熱！」といった場合は、**病児・病後児保育***5をご利用ください。病気・病気回復期の小学6年生までのお子さんを、医療機関に併設した施設でお預かりします。

※4 18歳に達する日以降最初の3月31日

※5 利用は事前登録等、諸条件あり

保育データ(令和5年4月1日時点)

保育園	認定こども園	
11カ所	2カ所	
地域型保育事業	幼稚園	
5カ所	7カ所	

行田で学ぶ 教育

ポイント3 充実した外国語教育でグローバル人材を育成します

国際社会で通用する英語力を身に付けることができるよう、**ALT（外国語指導助手）を小中学校に配置**し、国際感覚と英語コミュニケーション能力の育成に取り組んでいます。



学校データ(令和5年4月1日時点)

小学校	中学校	高等学校	専門学校・大学
12校	8校	1校	2校

ポイント4 普段の学校生活で経験できないことを学ぶことができます

大学教授やその道のプロが講師となり、子どもの知的好奇心を刺激する授業を行う「**子ども大学ぎょうだ**」を開校しています。

また、児童の放課後の居場所づくりとして、「**放課後子ども教室**」を開設しており、地域の方々や異学年同士で交流を図りながら、昔遊びやものづくりなどを行い、楽しく活動しています。

ポイント5 児童・生徒に対してきめ細かな支援をしています

幼児や児童の望ましい発達を支援する、**早期療育「ステップ教室」**や小中学校の特別支援学級などで学校生活を支援する「**きらきらサポーター**」の配置など、きめ細やかな支援を行っています。

また、児童・生徒の学力向上のため、小中学校に独自の支援員を配置しています。

妊娠前 妊娠期 出生～就学前 小学生・中学生 高校生・大学生

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳～
助成	● 不妊治療費助成 ● 不妊・不育症検査費助成	● おうち子育て支援金 ● 乳幼児健診・各種予防接種 ● 子ども医療費助成事業(0歳～18歳)																	
交流	● 母子手帳配布 ● 出産・子育て応援事業 ● ママ・パパ教室	● ブックスタート、離乳食教室(1歳未満)	● 子育て談話室(0歳～乳幼児) ● つどいの広場(0歳～3歳未満)					● 就学援助費(小学校・中学校)											
相談	● 子育て包括支援センター(妊娠中～1歳)	● 赤ちゃん訪問 ● 乳幼児相談(0歳～小学校就学前) ● こそだて応援訪問事業(0歳～小学校就学前)																	● 奨学資金・入学準備資金貸付(高校・大学)
預ける		● 保育園(0歳～小学校就学前) ● ファミリー・サポート・センター(6カ月～12歳)						● 学童保育室											

行田市は私たち子どもへの支援も充実しています

- 外国語指導助手(ALT)の配置
- 子ども大学ぎょうだの開校
- 放課後子ども教室
- 早期療育「ステップ教室」



「行田市子育てガイドブック」の情報は右の二次元コードからチェック!



お仕事 行田で起業する

行田では、起業を考えている方を後押しする制度があります。制度を活用して行田で起業してみませんか。

ポイント6 空き店舗で起業される方を応援！

空き店舗などを賃借して事業を開始される方へ、起業家支援事業で家賃や出店時のリフォーム費用の一部を補助しています。

飲食店や理髪店など、さまざまな業種の方に活用され、好評を得ています。

※空き店舗家賃助成：月額上限50,000円

※空き店舗改修助成：上限500,000円



ポイント7 チャレンジショップでお試し創業し、経営感覚を磨くことができます



お試し創業の場として、市が用意する「チャレンジショップ」を2年間に限り賃料無料で利用できます。

事業を軌道に乗せられるか不安な方も、チャレンジショップでのお試し創業を通じて経営感覚を身に付けることができます！

※店舗への見学などや詳細な情報については、行田市役所商工観光課まで問合せください。



Interview

市や商工会議所の支援で、さまざまなことにチャレンジできました。

岡田 幸恵さん

トルコランプ工房HAPPY 店主

3年前に市のチャレンジショップ事業を活用し、現在は日本遺産構成資産である足袋蔵を改修した店舗でトルコランプの販売を行っている。

友人からトルコランプをいただき、そのデザインに魅了されたことと、元々手作りすることが好きだったということもあって、トルコランプの店を出店することを本気で考えるようになりました。そんなときに、市のチャレンジショップ事業を知り、この制度を活用して起業することができました。

この事業では、市や商工会議所から起業に対するノウハウを指導していただけるとともに、家賃負担なく出

店することができるのが魅力的で、そのおかげで安心してさまざまなことにチャレンジすることができました。

今のお店を開業して3年目を迎えました。これまではトルコランプの手作り教室や販売を行っていましたが、今後は、空き家を活用したコミュニティーカフェのような老若男女問わず訪れることのできる、にぎわいのあるお店を出店したいと考えています。

行田で就農する 農業

行田は、二大河川に囲まれた肥沃な土地で温暖で日照時間も多い場所です。農作業に最適な行田市で農ある暮らしをしてみませんか。

ポイント8 新規就農希望者を応援しています

新規就農1年目に実際に必要となる費用は、**平均569万円**です(全国新規就農相談センター「平成28年度新規就農者の就農実態に関する調査結果」より)。この費用を全額自己資金で調達するのは難しい方には、市の新規就農者の確保やスマート農業の関連機器の導入を支援することを目的とした補助制度がありますので、ご活用ください。

市では、新規就農の相談を随時受け付けています。



ポイント9 地産地消を応援しています！



行田市は県内有数の米と麦の生産地ですが、野菜や花き栽培も盛んな地域です。

また、行田では地元で生産したものを地元で消費する「地産地消」の取り組みを推進しています。野菜などの農産物を市内各所の農産物直売所の他、毎週日曜日に開催される「行田はちまんマルシェ」では新鮮な農産物や加工品をお客様と交流を図りながら、直接販売することができます。

03 ぎょうだ農業DATA

農家の数	水稲作付面積	麦類作付面積
県内 5位	県内 5位	県内 2位
総農家数 1,474戸	作付面積 1,630ha	作付面積 813ha
農業従事者 2,037人	収穫量 8,240t	収穫量 3,369t
令和4年度「統計ぎょうだ」より	令和4年度「作物統計調査」より	令和3年度「作物統計調査」より

農産物特産品

行田の農産物の特産品は、行田在来青大豆です

行田在来青大豆は、古くから行田地域のあぜ道などで栽培されていた大豆の在来品種で、畑でも感じるほどの甘く豊かな香りと味が特徴で、1年間のうち、わずか20日間程度しか収穫されない、貴重なものです。また、「香り、甘さ



鮮やかな緑色」の特性を活かし「行田在来えだまめ」として販売しています。さらには、生産者で「行田豆吉クラブ」を結成し、品質向上や産地拡大などを目指して活動しています。行田に移住して農業を始める方は、同クラブに加入してプレミアムな行田在来青大豆と一緒に栽培してみませんか？



行田在来青大豆キャラクター「行田豆吉」

イチオシ!! スポット & イベント

SPOT 1 忍城址

関東七名城のひとつである忍城は、15世紀後半に成田氏によって築城されました。戦国時代の終わりに、石田三成らが水攻めを行いました。落城しなかったことから、別名「浮き城」といわれ、後世に伝えられています。



SPOT 2 行田花手水



行田八幡神社を中心に、商店や民家の軒先に水鉢で季節の花々を美しく飾る行田花手水。毎月2週間限定で、「行田花手水week」を開催しています。また、毎月1夜限定で「希望の光」をテーマにライトアップイベントも開催。幻想的な演出で、来場者に癒しを提供しています。(花手水week、ライトアップイベント共に7月、8月を除く)

SPOT 3 足袋蔵

行田市は日本一の足袋生産地として知られ、今でも足袋の倉庫「足袋蔵」が数多く残り、趣ある景観を形づくる“足袋蔵のまち”です。平成29年には、行田足袋と足袋蔵のストーリー「和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田」が埼玉県初の日本遺産に認定されています。



▲日本遺産の構成資産の1つである「足袋とくらしの博物館」



SPOT 5 さきたま古墳公園



5世紀後半から7世紀はじめごろにかけてつくられた9基の大型古墳が群集している公園で、令和2年度に国の特別史跡に指定されました。園内には、国宝「金錯銘鉄剣」などが展示されている「県立さきたま史跡の博物館」やはにわ作り体験ができる「はにわの館」などがあります。

SPOT 4 古代蓮の里



約1,400年から3,000年前のものといわれる行田蓮(古代蓮)の他、世界の蓮など、蓮の神秘的な美しさを満喫できる公園です。6月下旬から8月上旬にかけて、42種類約12万株の花蓮が池一面に咲き誇ります。また、7月中旬から10月中旬頃までは、古代蓮会館の地上50メートルの展望台からさまざまな種類の稲で描く田んぼアートを楽しむことができる他、冬にはイルミネーションで園内を明るく彩るなど、1年を通じて楽しめる観光スポットです。

SPOT 6 フライ・ゼリーフライ



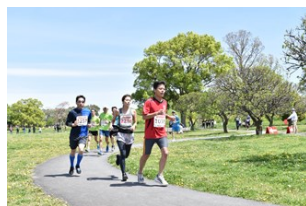
市公式マスコットキャラクター「フラベえ」(左)と「こぜんにちゃん」(右)

行田に来たらぜひ、食べてね

かつて足袋生産が全盛期を誇っていたころ、足袋職人のおやつとして定着したのが「フライ」と「ゼリーフライ」です。文化庁の百年フードにも選ばれ、行田市のソウルフードとして親しまれており、各メディアにも取り上げられています。

4月

鉄剣マラソン大会



古代蓮の里や埼玉古墳群など、古代ロマンと歴史を体感できるコースとなっています。まちの一大スポーツイベントです。

行田春まつり

やわらかな日差しのもと、各種露店や手作り雑貨などの店が約100店舗出店する他、ライブなどの催しものがにぎやかに行われます。うらかな春のひと時をお楽しみください。



5月

さきたま火祭り(5月4日)



古代ロマンを感じるさきたま古墳公園で、古事記に記された神話の一場面を再現する祭りであり、見る人を神話の世界に誘います。

6月

田んぼアート田植えイベント



毎年多くの参加者を募り、色とりどりの稲を植えています。田植えを経験したことのない方でも楽しく作業ができます。

7月

行田蓮まつり



蓮の見ごろの時期に合わせて、蓮茶の試飲会や蓮もちつき大会、「俳句・写真コンテスト」などさまざまなイベントを行っています。

行田浮き城まつり

「ソーレ!ソーレ!」と掛け声を響かせながら踊り歩く「だんべ踊り」や、山車同士の太鼓の「たたき合い」などが祭りを盛り上げ、夜のまちを熱気に包む、真夏の風物詩。



11月

行田商工祭・忍城時代まつり



忍城址で江戸時代の忍藩にまつわる武将に扮した武者行列や火縄銃演武などが披露されます。市役所付近の駐車場では、物産大バザールやものづくり体験などのイベントがあります。

12月

行田西の市



明治40年から続く祭りで、愛宕神社周辺で行われます。神社境内には、熊手などを売る露店が立ち並び、商売繁盛・家内安全を願う多くの人が訪れます。